

健康経営のススメ



健康体操を実践する保育士＝雲南市大東町大東、雲南市立大東保育園

雲南市の市立大東保育園、同かもめ保育園、みなみかも保育園を運営する社会福祉法人・愛耕福祉会（雲南市加茂町南加茂、白根康久理事長）は、保育士の腰痛、膝痛解消を目的とした健康体操を導入した。島根県内で健康経営推進事業を展開する㈱Canvas（キャンバス）と共同の取り組みで、身体や精神的負担が大きい保育士の労働環境改善につなげる。

同福祉会は健康経営に取り組む全国中小企業の上位500社に与えられる経済産業省の「健康経営優良法人2022（プライト500）」の認証を受けるなど、職員の心身を守るさまざまな対策を実践している。

健康体操で保育士の腰痛や膝痛を解消

取り組み

社会福祉法人・愛耕福祉会

（雲南市加茂町南加茂）

キャンバスが同会に勤務する保育士を対象に行ったアンケートによると、「腰痛、膝痛で仕事に支障が出た」との回答は全体の56%に及び、ほとんどが痛みを我慢しながら日々の業務に携わっているという結果が出た。早期退職や休職の原因にもなるこれらの職業病解決に向け、健康経営の一環で5月下旬から大東保育園で始めた。

同保育園であった初回ワークショップでは、保育士が「0〜1歳児クラスを担当すると、目線を合わせようとするため腰や膝といった特定の部位が痛みやすくなる」などと課題を発表後、足を伸ばしたり腰を曲げたりしながら痛みを和らげる体操を職員全員で実践した。講師を務めたキャンバスの担当者は、血管にたまる老廃物を出し新鮮な血液を送り出すことで痛みは除去できるとし、「痛みは残したままにせず、解決策を打ち出してお互いでケアし合える習慣をつくってほしい」と説明した。

白根理事長は、保育士全員が職業病に悩むことなく、いきいきと子どもたちに向き合うには健康経営は不可欠とし、「未長く働ける職場環境の提供を目的に始めた取り組みが、保育業界の明るい未来のモデルケースとなることを願う」と話した。

（石倉俊直）

日々の経済・政治ニュースは山陰中央新報で

<http://www.sanin-chuo.co.jp/>

山陰中央新報

検索

はじめよう
山陰中央新報
LINEニュース



配信登録はこちらから

